

## 教科目名 環境計画 (Environmental Planning)

学科名・学年 : 都市システム工学科 5 年 (教育プログラム 第 2 学年 ○科目)

単位数など : 選択 1 単位 (後期 1 コマ, 授業時間 23.25 時間)

担当教員 : 高見 徹

授業の概要			
<p>本科目では、「地球環境時代のまちづくり」についての基本的な視点, 目指す方向, まちづくりの手順, ならびに事例についての解説を行うとともに, 具体的な事例研究として, 大分県の主要な一級河川水系等におけるまちづくり計画についての検討を行う。</p>			
達成目標と評価方法		大分高専目標 (B2), JABEE 目標 (d1⑤) (g)	
<p>(1) 「地球環境時代のまちづくり」についての基本的な視点とめざす方向を理解できる。(中間試験)  (2) まちづくりの手順と各国・各地における事例を理解できる。(中間試験)  (3) 地域の自然, 風土・風致景観, 社会・人文環境を分析からテーマを発見し, 統合することができる。(報告書)  (4) 自主的, 継続的に学習できる。(報告書)</p>			
回	授 業 項 目	内 容	理解度の自己点検
1 2	<p>&lt;めざす方向&gt;  (1) 基本的な視点</p>	<p>○地球環境時代における人間環境づくり, 地球圏・生命圏と共存した人間圏の創造, 自然と経済のエコロジカルデザインについて理解できる。</p>	【理解の度合い】
3	<p>(2) めざすまちの姿</p>	<p>○農のあるまちづくり, コンパクトなまちづくり, 心地よいまちづくりについて理解できる。</p>	
4	<p>&lt;まちづくりの手順&gt;  (1) 地域を読み取る</p>	<p>○地域の履歴と今を読む, 地図を読み・作って地域を分析する, を理解できる。</p>	
5	<p>(2) 分析からテーマの発見・統合化へ</p>	<p>○分析からテーマを発見し, 統合する, 自然が蘇るまちづくり, を理解できる。</p>	
6	<p>&lt;事例に学ぶ&gt;  (1) 世界のエコロジカルなまちづくり</p>	<p>○世界各地のエコロジカルなまちづくりの事例を理解できる。</p>	
7	<p>(2) 日本のエコロジカルなまちづくり</p>	<p>○日本各地のエコロジカルなまちづくりの事例を理解できる。</p>	
8	後期中間試験		
9	後期中間試験の解答と解説	<p>○分からなかった部分を理解する。</p>	【理解の度合い】
10	<p>&lt;事例研究&gt;</p>		
11	(1) 大野川水系におけるまちづくり	<p>○大分県の主要な一級河川水系等におけるまちづくりを計画し, 報告書としてまとめることができる。</p>	
12	(2) 大分川水系におけるまちづくり		
13	(3) 番匠川水系におけるまちづくり		
14	(4) 山国川水系におけるまちづくり		
15	報告書の作成・提出		【試験の点数】 点
	報告書についての講評	○報告書の評価内容を理解する。	
履修上の注意	本科目の修得には自主的および継続的に学習できる力が必要である。		【総合達成度】
教科書	日本建築学会編, 「まちづくり教科書第 10 巻地球環境時代のまちづくり」, 丸善株式会社。		
参考図書	<p>1) 大西・小林編, 「東大まちづくり大学院シリーズ, 低炭素都市これからのまちづくり」, 学芸出版社。  2) 国土交通省九州地方建設局, 「大野川水系河川整備計画【直轄管理区間】」, 国土交通省九州地方建設局。</p>		
自学上の注意	事前に配布されたプリントを熟読した上で授業に臨むこと。		
関連科目	公園緑地計画, 環境システム, 都市景観学, 地域計画学		
総合評価	<p>達成目標の(1)~(3)について中間試験と報告書で評価する。  総合評価 = (中間試験の評点 + 報告書の評点) / 2  総合評価が 60 点以上を合格とする。再試験は実施しない。</p>		【総合評価】 点